

平成18年度 青年海外協力隊 現職教員特別研修

## 国際教育の推進

茅野 公穂 (Kimiho CHINO)  
CRICED, University of Tsukuba

### はじめに

- 国際教育について
- 事例について
  - －検討のためのキーワード－
    - 学校全体の取り組みへ
    - 学びの広がり・深まり
    - 招聘等、学外の人材の活用
- おわりに

### 国際教育について

### 国際教育とは

「国際社会において、地球的視野に立って、主体的に行動するために必要と考えられる態度・能力の基礎を育成する」ための教育

－「初等中等教育における国際教育推進検討会」－

国際理解教育、帰国・外国人児童生徒教育、海外子女教育など、各分野の成果を踏まえた教育のあり方として提言

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/026/index.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/026/index.htm)

### 求められる態度や能力

いかなる人材を育てるべきか ー国際社会で求められる態度・能力

- 国際化が一層進展している社会においては、国際関係や異文化を単に理解するだけでなく、自らが国際社会の一員としてどのように生きていくかという主体性を一層強く意識することが必要
- 初等中等教育段階においては、すべての子どもたちが、
  - ①異文化や異なる文化をもつ人々を受容し、共生することのできる態度・能力
  - ②自らの国の伝統・文化に根ざした自己の確立
  - ③自らの考えや意見を自ら発信し、具体的に行動することのできる態度・能力を身に付けることができるようにすべき
- これらは、国際的に指導的立場に立つ人材に求められる態度・能力の基盤となるものであり、個の特性に応じて、リーダー的資質の伸長にも配慮した教育を

－「初等中等教育における国際教育推進検討会」－

### 事例

- －検討のためのキーワード－
  - 学校全体の取り組みへ
  - 学びの広がり・深まり
  - 招聘等、学外の人材の活用

## 静岡県沼津市原小学校における ホンジュラス文化経験授業

生田佳澄先生（14年度ホンジュラス派遣）



- ◆外国との比較の視点を取り入れた地域学習  
「私たちのふるさと 原のよさを見つけよう」  
5学年全体。教頭先生やPTA会長も講師に招く。
- ◆ホンジュラス国立演劇学校長 文化庁招聘研究生  
Jose Luis Recinos氏（来日中）を招いての異文化交流
- ◆帰国隊員による通訳により、互いの意思疎通に欠かせない配慮を実現

<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/project/ikuta.pdf>

## 愛媛県久万高原町立美川中学校における ガーナ文化経験授業 渡部和江先生（15年度ガーナ派遣）



地域社会との連携

- ◆全校での取り組みと学年ごとの取り組みの組み合わせ。学校の取り組みには保護者も参加。
- ◆ガーナのエリック氏（職業訓練学校校長）を招いての異文化交流  
費用は趣旨に賛同していただいた地元企業の方の寄付

<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/20060107/watanabe.pdf>  
平成17年度文部科学省・筑波大学国際教育協カシンポジウム  
「開発途上国における派遣現職教員の活躍」報告書

## 愛媛県松山市石井小学校における 松山ーホンジュラス・ダンリ間絵手紙交換

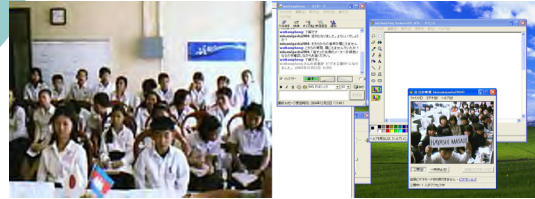
藤井田美代先生（14年度ホンジュラス派遣）



<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/project/fujiida.pdf>

## 長野県小諸市ーカンボジア・ バタンバン州 インターネットライブ授業

中山晴美先生（14年度カンボジア派遣 小諸市立美南が丘小学校教諭）  
阿部康裕先生（15年度カンボジア派遣 ワットカンベン小学校）



[http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/project/live\\_report.pdf](http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/project/live_report.pdf)

## 神奈川県秦野市ーバヌアツ 滋賀県草津市ーバヌアツ インターネットライブ授業

関野貴之先生（15年度バヌアツ派遣 秦野市立鶴巻小学校）、  
核重美香先生（14年度バヌアツ派遣 草津市立老上小学校）、  
時國祐子先生（16年度バヌアツ派遣 LAKATORO SCHOOL（ラカトロ実施担当者））、  
追田陽子先生（16年度バヌアツ派遣 Malampa Provincial Education Office（ラカトロ実施担当者））、  
鳥居塚一登先生（16年度バヌアツ派遣 Ambaebulu Primary School（アンバエブル実施担当者））



平成17年度  
7月12日 ラカトロ初等学校ー鶴巻小学校、9月27日 アンバエブル初等学校ー老上小学校、  
9月29日 ラカトロ初等学校ー鶴巻小学校、10月3・4日 ラカトロ初等学校ー老上小学校、において実施。

## 国際教育

ー方法ー

- 現職教員の派遣（直接体験）
- 途上国の関係者を学校に招く
  - 保護者、企業との連携
- インターネットの活用



- ① 異文化や異なる文化をもつ人々を受容し、共生することのできる態度・能力
- ② 自らの国の伝統・文化に根ざした自己の確立
- ③ 自らの考えや意見を自ら発信し、具体的に行動することのできる態度・能力を身に付けることができるようにすべき